

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第20号

新収蔵品展～昔のくらし～



展 示 風 景

作られる材質がかわったもの、作られる方法がかわったもの、そして、もう今では使われなくなってしまったもの……。これらの品々は、私たちのくらしの移り変わりをよく示してくれます。

また、第二次世界大戦のように、風化させてはいけない、戦争といった歴史を証言する史料も展示しています。

展示期間は、平成13年5月15日（火）～9月2日（日）までです。皆様のお越しをおまちしています。

激動の20世紀も歴史の一ページとなり、世の中の変化は、ますますその速さをつのらせている感があります。

日々の生活の中で、忘れ去られていく過去の中にも、人々が生きた証として残されたものが数多くあります。

郷土資料館では、町民の皆さんのご協力を得ながら、歴史の「証言者」である資料の収集に努めています。

今回の展示では、「昔のくらし」をテーマに、平成12年度中に資料館に寄贈いただいた資料のなかから、私たちのくらしの変化を示すものを選んで展示しました。



展 示 風 景

相 撲 絵

平成13年度 第1回企画展「相撲絵」が、4月24日から5月6日まで行われました。

出品は1. 取組 2. 玉垣額之助化粧廻し姿一人立 3. 取組絵 4. 土俵入之図 5. 土俵入りの図 6. 取組絵 7. 緋緘力弥 8. 因州 勝山芳蔵二本差着物姿 9. 丸亀 象ヶ鼻 平助二本差着物姿 10. 伊勢 伊勢ヶ濱荻右エ門二本差着物姿 11. 増位山大四郎二本差着物姿 12. 津 盤石力勝二本差着物姿 13. 回向院於境内勧進大相撲土俵入之図 14. 回向院於境内勧進大相撲土俵入之図 15. 一礼之事（関根家文書） 16. 行書版東海道五十三次金谷（写真） 17. 渡し場（写真）となりました。

錦絵の普及とともに、江戸時代後半、当時人気のあった力士を中心に相撲絵が作られました。

稽古風景や土俵入り、取組の様子など様々な場面とともに、その背景として当時の生活の様子が描かれており、江戸風俗を知る上で貴重な資料でもあります。



四、土俵入之図
国貞画

綿 くらり 教室

平成13年4月6日（日）に、旧加藤家の縁側において、「綿くらり教室」を開催しました。

体験教室に使用した綿は、町内のボランティアグループの「花くらぶ」さんたちが育ててくれたものです。

ダンボール一杯に集められた綿を、「綿くらり機」という民具を使って、綿の繊維と種にわけます。



当日は、西原保育園の子供たちも参加してくれました。綿くらり機の間からでてくる綿の繊維はフワフワで、綿菓子のように「おいしそう」という声も聞こえていました。

今年も、花くらぶの皆さんが耕作している畑では、綿の木がすくすくと育っているそうです。

綿の実を見たことがない方や、触ってみたい方は、郷土資料館までご相談ください。育ててみたい方も、お声がけください。

かごづくり教室

昔は、身近な材料である竹を使って作られたかごは、生活必需品でした。発掘調査などによっても、縄文時代前期にあたる約6,000年前のかごが発見されています。かごは、最も身近で長い歴史をもつ伝統工芸であると言えるかもしれません。



かごの底の部分を編んでいく

現在では、竹かごに代わる道具がでてきたことから、竹かごを作るのできる職人の方もだんだんと少なくなってきました。

今回、5月19日・26日・6月2日の3回にわた



できあがったかごを手に、先生と記念撮影

って、町内唯一のかごづくり職人である、後藤 政 さんを講師にお迎えして、竹かごづくりの教室を開催しました。

実際にかごづくりを体験してみると、簡単そうに見えた先生の手つきが、いかに熟練した匠のわざであったのかということがわかりました。苦勞の末、ようやくできたかごは、参加者の宝物になったようです。

宿・源太山遺跡 発掘調査

平成13年5月から6月にかけて通称“源太山”と呼ばれる宿・源太山遺跡で発掘調査が行われました。住居跡から宮代町で古墳時代初頭の壺が初めて発見されました。壺は球形を帯び、赤彩色が鮮やかに施されています。およそ1,700年程前の弥生時代から古墳時代になる時期につくられたものだと考えられます。今までは弥生時代終末の壺であると位置付けられていましたが、最近の研究では古墳時代初頭の土器ではないかといわれています。

発掘現場からは壺のほかに小さな破片が多数発掘され、約50cm×30cmの大きな破片も見つかっています。これは鎌倉から室町時代に死者を供養するためにつくられました。板碑は宿・源太山遺跡周辺の西原・金原・中・東地区でも多く見つかって平成13年3月の伝承旗本服部屋敷跡からも数点出土しています。この辺

りには有力者の館が建てられていたようです。そして、古文書からも百間郷の武将鈴木雅楽助などが確認でき、当時百間で数多くの人が生活していたことがよくわかります。

更に、本地域には“宿”という地名が残り、本遺跡から板碑が出土したことにより中世以来、街道沿いの集落として発展していたことが推定されます。



コラム～クルミの木～

◇郷土資料館では多くの方々から貴重な資料を寄贈していただいています。◇それらの資料の中から「昔の暮らし」をテーマに、平成13年度第2回企画展 新収蔵品展～昔の暮らし～を平成13年5月15日（火）から9月2日（日）まで開催しています。◇使用目的は同じでも、今の物と材質が違ったり改良されてより使いやすくなっている物があり、道具の今と昔を比べてみると面白みがありますので是非ご覧ください。

資料寄贈者名簿

下記の皆様から歴史や文化に関する資料をご提供いただきました。厚く御礼申し上げます。

白川由利子氏	アイロン
関根義一郎氏	ノロアゲジョレン
アップル文庫氏	プラモデル
杉山文蔵氏	国債証券（戦時中）、震災実況 絵葉書、絵葉書、衣料切符、 米俵荷札、サオバカリ（二貫 目、六貫目）古新聞
松沼恒三氏	キワリ、ウチセン、カタ（四 寸五分、八寸、八寸五分、一 尺六寸、二尺、二尺三寸
森 近司氏	ミソコシザル、ヒラショウギ コシフグ、クサリトリミイケ ー斗五升ザル、ヒゴ
伊草 進氏	祈願わらじ（大、中、小） わらじ、なべつかみ、ミゴワ ラのほうき、やっこ凧、ナカ ハリダコ、一文字ダコ、干支 凧、六角ダコ、六角ダコ（巻 きダコ）、凧（七角形）剣凧、 千住バリ
渡辺重義氏	機関紙（埼玉県民だより、埼 玉銀行情報誌（オニオン）、浅 草寺
知久 勇氏	折箱（角切、うるし紙、角丸 等）三嶋大社御礼箱、百間弁 財天御礼箱、折箱工程品）

加藤精一氏	桐材（桐板）、ウズクリ、ロウ、 ウツギのクギ、トノコ、ヤシ ャブシの実
伊草英雄氏	ザグリ、ワタクリ、ケバトリ キ、イトワク、ロウト状の民 具
野口丈吉氏	箱階段、火ばち、銭箱、桐た んす、着物、鏡、文鎮、ツケ ハンダイ、姫宮1・2班膳椀、 円卓の台、賞状、写真、滑車 古隅田川改修関係文書
吉岡郁子氏	火ばち、湯たんぽ、うちわ（木 製）

寺山榮次郎氏 和戸浅間神社写真
青木千代子氏 ガラス製はえとり器

資料館日誌抄

《平成12年8／1日～平成13年6／30》

- 8. 1 夏休み体験学習教室「進修学校」（～8／4）
- 8. 8 夏休み体験学習教室「西條学校」（～8／11）
- 8. 23 企画展『発掘!! 出土遺物からのメッセージ』（～10/29）
- 8. 26 縄文土器作り教室「土器焼き」
- 10. 15 わら細工教室
- 11. 12 古文書講座（11／19・26・12／3・10）
- 11. 18 体験学習バスツアー藍染教室
- 11. 19 かご作り実演会
- 12. 2 たんす職人よもやま話
- 2. 18 郷土史講座『みやしろ戦国物語』（2/25・3/4・11・17）
- 4. 6 綿くり教室
- 4. 24 企画展 『相撲絵』（～5／6）
- 5. 15 新収蔵品展 ～昔の暮らし～（～9／2）
- 5. 19 かご作り教室（5／26、6／2）
- 6. 24 琵琶のしらべ
- 2. 18 郷土史講座「みやしろ戦国物語」（2/25・3/4・11・17）

宮代町郷土資料館だより えんがわ 第20号

発行日 平成13年6月30日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

HP <http://www1.sphere.ne.jp/miyasiro/musian/top.html>